

東京電力ホールディングス(株)福島第一原子力発電所  
2021年度 パフォーマンス向上会議情報(2021年6月22日(火)分)

◆不適合とは、本来あるべき状態とは異なる状態、もしくは本来行うべき行為(判断)とは異なる行為(判断)を言います。法律等で報告が義務づけられているトラブルから、発電所の通常の点検で見つかる計器や照明の故障など、広い範囲の不具合が対象になります。

2021年6月22日のパフォーマンス向上会議で審議された不適合は、下記のとおりです。

番号	不適合内容	グレード	発見日
1	<p>【既設多核種除去設備(A)バッチ処理タンク2A PH計サンプルラインの詰まりについて】 当直員が、既設多核種除去設備(A)の起動操作中に、免震重要棟集中監視室監視盤に「バッチ処理(※)タンク2A PH計サンプル流量低」の警報を確認。 現場にて、漏えいがないことの確認および当該サンプルラインの流量調整を実施したが、流量が回復しないため、PH計サンプルラインの詰まりと推定。 運転については、バッチ処理タンク1Aを使用して運転継続可能。 今後、当該サンプルラインの清掃予定。</p> <p>※バッチ処理:一定量を集約し纏めて処理をすること</p>	GⅢ	6月18日
2	<p>【「地下水ドレンウェルC水位低低」の警報発生について】 当直員が、免震重要棟集中監視室監視盤に「地下水ドレンウェルC水位低低」警報が頻発していることを確認。 設備主管箇所による調査の結果、当該水位を制御している計器は概ね安定した指示を示していることから、当該レベルスイッチの故障と判断。 当該警報発生によりポンプは停止するが、地下水ドレンの汲み上げは近接する他のピットから汲み上げが継続可能なため、影響なし。 レベルスイッチを予備品と交換し、警報の消灯を確認。</p>	GⅢ	6月18日